

池田 公平

1 著書

なし

2 学術論文

- 1) **Ikeda, K.**, Kaneko, T., Uchida, J., Nakamura, T., Takeda, T., & Nagayama, H. (2024). Identifying profiles of stroke patients benefitting from additional training: a latent class analysis approach. *Journal of rehabilitation medicine*, 56, jrm22141. <https://doi.org/10.2340/jrm.v56.22141>
- 2) **Ikeda K.**, Sasada S. Identifying characteristics of stroke patients benefitting from interprofessional collaboration. *British Journal of Occupational Therapy*. 2024;0(0). <https://doi.org/10.1177/03080226241233127>
- 3) **池田公平**, 笹田哲. (2023). セラピスト連携実践尺度 (Therapist Collaborative Practice Scale; TCPS) の信頼性および妥当性の検証. *作業療法*, 42(6), 709-717.
- 4) Kaneko, T., Nagayama, H., **Ikeda, K.**, Nakamura, T., Niimi, A., Inoue, N., Takeda, T., & Uchida, J. (2023). Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: a protocol for an updated systematic review. *BMJ open*, 13(12), e079318. <https://doi.org/10.1136/bmjopen-2023-079318>
- 5) 丸岡ちひろ, **池田公平**, 笹田哲. 作業療法士が脳血管疾患障害者に対し急性期より作業を用いる意義—作業療法士の語りから—. *作業療法* (2024.1.16 accepted)
- 6) 中村拓人, 野口夏蓮, **池田公平**. (2023). 自閉スペクトラム症の家族機能に関連する要因は何か?: スコーピングレビュー. *作業療法*, 43(1), 1-9.
- 7) 林慎也, **池田公平**, 村仲隼一郎, 神保匡良, 田中雅士, 高見澤 広太, 笹田哲. 脳卒中のリハビリテーションにおける患者報告アウトカム: スコーピングレビュー. *作業行動研究* (2024.3.6 accept).
- 8) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, **池田公平**, 福岡梨紗. (2024). 高齢者看護学の学内実習における多職種コンサルテーションの実践報告. *神奈川県立保健福祉大学誌*, 21(1), 73-84. <https://doi.org/10.15042/0002000045>
- 9) 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, **池田公平**, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. *保険医療福祉連携*, 17(1), 2-13.

3 その他の著作

なし

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 選挙管理委員長
- 2) 令和5年度老人保健事業推薦費等補助金(老人保健健康増進等事業分) 事業【56番】

リハビリテーション・機能訓練，口腔，栄養の一体的取組に関する調査研究事業 事業実施小委員会 構成員

5 社会貢献

- 1) 本学オープンキャンパス，ミニオープンキャンパスの企画・運営補助
- 2) よこすか浦賀病院にて診療指導および地域医療への協力
- 3) ポートバレーヌ（横須賀市の団地）にて，健康チェック教室を開催（第1回：2023年9月10日，第2回：2023年11月26日）

6 講演，放送

なし

7 学会等での活動

- 1) 池田公平，笹田哲．脳卒中患者の日常生活活動改善の予測因子：医療提供体制と臨床過程の構造方程式モデリング．第57回日本作業療法学会，沖縄(2023.11.11.)
- 2) 井上由貴，池田公平，牛腸昌利，村仲隼一郎，笹田哲．橈骨遠位端骨折の対象者の選定方法と作業療法内容の傾向-文献レビュー-．第57回日本作業療法学会，沖縄(2023.11.11)
- 3) 村仲隼一郎，笹田哲，池田公平：脳卒中者に対するリハビリテーション実施時間数と実績指数との関連性の検討－回復期リハビリテーション病棟の退院時における横断研究－．第57回日本作業療法学会，沖縄(2023.11.10)
- 4) 渡邊恵，長島俊輔，玉川淳，志村華絵，加藤木真史，佐々木杏子，森朱輝，藤田峰子，長山洋史，池田公平，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，岸川学，高橋恭子，水戸優子．(2023).多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ．第1回ヒューマンサービス学術集会(2023.11.5).
- 5) 星美鈴，池田公平，福岡梨紗，間瀬由記，黒河内仙奈．高齢者看護学の学内演習における多職種コンサルテーションの実践報告．2023年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会(2023.8.8).

8 学内教育活動

- 1) 評価学概論 科目責任者
- 2) 臨床作業療法学演習 科目責任者
- 3) 総合臨床実習Ⅱ 科目責任者
- 4) 身体機能評価学Ⅰ 15 コマ
- 5) 身体機能評価学Ⅱ 15 コマ
- 6) 評価学演習 15 コマ
- 7) 運動学 15 コマ
- 8) 作業適用学 4 コマ
- 9) 作業療法概論 2 コマ
- 10) 作業療法管理運営Ⅰ 1 コマ
- 11) 作業療法管理運営Ⅱ 1 コマ
- 12) 地域作業療法学 1 コマ
- 13) 身体障害作業療法学演習（試験補助）
- 14) 解剖学実習Ⅱ（引率）
- 15) 学内実習 評価学実習（1名1週間）
- 16) 身体機能評価学Ⅰ・Ⅱにて視聴覚教材を作成した。視聴覚教材の具体的な内容は、教員2名が脳血管疾患患者と作業療法士の役割を演じ、面接・評価・介入など作業療法士の臨床的思考過程を追体験できるものとした。
- 17) 作業療法専攻内では、OSCE ワーキンググループに所属し、OSCE 課題の内容の検討、当日スタッフの手配、配置、会場設営などを行った。
- 18) 見学評価学実習、評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ、地域リハビリテーション実習では、それぞれ2～3名程度の学生の担当教員となり、実習前・実習中・実習後の面談を行った。特に、実習中、学生が現場で課題や態度などで困難に直面した際、随時面談を行った。

9 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会
- 2) 入学式・卒業式・修了式委員会
- 3) OSCE ワーキンググループ
- 4) 専攻内の入試ワーキンググループ
- 5) 専攻内の国家試験対策担当

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 臨床現場の医療従事者のための Interprofessional Education プログラムの構築（課題番号：23K10508）、2023年度 基盤研究(C)、2023年度～2027年度、研究代表者。
- 2) 脳卒中患者の全体像予測に基づくリハビリテーション治療戦略（課題番号：20H03914）令和2年度～令和5年度、研究分担者。
- 3) 令和5年度 厚生労働省 老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組みに関する調査研究事業」の研究メンバー

- 4) 高齢者の健康寿命の延伸に寄与するリハビリテーション戦略の開発に向けた調査研究-ME-BYO & MI-RIZE Project-. 神奈川県みらい未病コホート研究の研究メンバー

11 学内研究助成金の受託

- 1) 平瀬達哉（研究代表者）、成松宏人、中村翔、新村直子、小河原格也、池田公平、小池友佳子、田中繁治。運動器疼痛を抱えた高齢者のサルコペニアの発生を予防する介入戦略の開発に向けた調査研究。研究助成 A. 1,108,819 円。2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日。
- 2) 黒河内仙奈（研究代表者）、岸川学、池田公平、長島俊輔、田中和美、樋口良子、福岡梨紗、渡邊恵、末田千恵。地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入。研究助成 A, 430,240 円, 2023.5.23～2024.3.31.

12 受賞

なし

13 特許など

なし

14 その他

なし